

(一社)日本原子力学会 標準委員会 基盤・応用技術専門部会
第3回 シミュレーションの信頼性分科会 (A2SC) 議事録

1. 日時 2013年5月28日(金) 13:30~17:00
2. 場所 伊藤忠テクノソリューションズ(株)セミナールームA(霞が関ビル20F)
3. 出席者(敬称略,分科会委員名簿順)
(出席委員) 笠原文雄(主査:JNES),中田耕太郎(副主査:東芝),中村均(幹事:CTC),越塚誠一(東大),山口彰(阪大),田中伸厚(茨城大),甲斐芳郎(高知工大),鈴木喜雄(JAEA),吉田啓之(JAEA),大山一弘(MFBR),大貫晃(MHI),石塚龍雄(CTC),巽雅洋(原子力エンジニア),溝上伸也(東電),堀田亮年(JNES),工藤義朗(JNES),永吉拓至(日立),中村秀夫(JAEA),浅見光史(海技研),深堀智生(JAEA) (20名)
(代理委員) 鈴木正昭(笠原(東大)代理),大野修司(大島宏之(JAEA)代理),高橋容之(美原(鹿島)代理) (3名)
(欠席委員) 岩崎智彦(東北大),古谷正裕(電中研),佐田幸一(電中研),内藤俣孝(ナイス),藤原大資(テプシス),佐々木泰裕(関電) (6名)
登録29名
(常時参加者) 久語輝彦(JAEA),佐方宗樹(CD-adapco),坪井一正(アンシス),吉田学(GNF-J),田中正暁(JAEA),尾崎哲浩(原燃工),加藤達也(東芝)
(欠席) 中島鐵雄(JNES),佐藤達彦(JAEA)

4. 配布資料

A2SC-3-1	議事次第
A2SC-3-2(1)	前回議事録
A2SC-3-2(2)	前回議事録メモ
A2SC-3-3(1)	標準「シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン」(案)
A2SC-3-3(2)	標準の解説(案)
A2SC-3-3(3)	標準案とWG報告書との対応関係
A2SC-3-4	分野別共通V&V調査表
A2SC-3-5	今後の進め方
参考資料	なし

5. 議事録

(1) 出席委員の確認

笠原主査により,登録された29名の委員中,代理委員を含めて21名の出席があり,定

足数（21名以上）を満足していることが確認された。

(2) 常時参加者追加の承認

笠原主査より，下記の2名を常時参加者として追加する提案があり，承認された。

- ・ 尾崎 哲浩 原子燃料工業株式会社
- ・ 加藤 達也 (株)東芝 電力システム社

(3) 前回議事録確認

中村幹事より，A2SC-3-2(1)に基づいて，前回分科会の議事録の確認が行われ，承認された。

(4) 前回議事メモ確認

笠原主査より，前回議事録メモ（A2SC-3-2(2)）を参考用に配布する旨説明された。

(5) 標準および解説(案)について

工藤委員より，A2SC-3-3(1),(2)および(3)に基づいて，標準案，解説案およびWG報告書との対応について説明された。これらは前回分科会でのコメントを踏まえて制定の趣旨他の内容を整えたものである。標準本文と付属書Aの区分，適用するシミュレーションの範囲や利用者の設定，および要求・推奨事項の区分等の記述方針について議論された。

(6) 分野別共通V&V調査表について

堀田委員より A2SC-3-4 に基づいて表記の説明があった。同資料は標準案に基づいてV&Vの要件を表形式にまとめたもので，標準案の各解析分野に対する適合性を調査することを目的としている。調査項目の詳細度や調査内容の扱い等について議論された。

(7) 今後の進め方について

笠原主査より A2SC-3-5 が説明され，今後の進め方について議論された。当分科会の設置期間は，平成26年6月までの2年間としているが，標準発行後も，更新・維持のため分科会を継続することが必要になる。

標準案については，改めて委員の意見をメールで収集し現行案に反映し，早期に標準案をまとめていく。9月の基盤応用専門部会で中間報告の予定である。

(8) 次回分科会

平成25年7月25日（水） 開催場所：原子力安全基盤機構

(9) その他

分科会終了後、幹事より、委員及び常時参加者に、分野別 V&V 調査表の作成を依頼した。
また標準の適用性検討に関わる分野別タスクグループへの参加要請を行った。

以上